



がんば

島原市立第三小学校
育友会報
発行部
広報部

【第104号】



新しくなった運動場

運動場が

できたこと

三年三組

川田 沙 恵

わたしは、運動場がきれいになったので、とてもうれい
いです。今までは、じどう公
園で遊んでいたけど、せまい
ので走りまわることがあまり
できませんでした。でも今は、
とても大きくて、きれいな運
動場ができて、おもいっきり
走れます。きれいになったの
で、見ただけでも楽しくなっ
てきます。

じどう公園のときよりたく
さんの人が遊んでいます。長
なわやてつぼう、ブランコや
すべり台。たくさんの方がい
ろんな遊びをしています。み
んな広々と場所を使って遊べ



ます。

こんなきれいで大きな運動
場をわたしは、とてもすきに
なりました。これからも、き
れいで大きな運動場を大事に
使っていきたいと思います。

運動場ができた

一年二組

田中 ゆうや

ぼくは、うんどうじょうが
こうじ中でつかえないので、
まい日まどからはやくできな
いかとながめていました。で
も、やつときれいなうんどう
じょうができて、みんなとの
びのびあそべるので、まんぞ
くです。

一年三組

前田 じゆり

うんどうじょうがきれいに
なりました。ゆうぐや、すな
ばもきれいです。わたしは、
うんどうじょうであそぶのが
だいすきなで、まいにちう
れいです。きれいにしてく
れたおじさんたち、ありがと
う。

交通指導 について

渡邊 徳 蔵

交通指導の基本は、歩き方です。今年度は「三小しつけの四原則」を設定しました。徹底させたい実践事項の一つに「走らない」とび出さない、正しい廊下の歩行」を挙げています。ところが、子供達の自己反省をもとに判断すると、各クラスともなかなか正しい廊下の歩行ができていない状況です。低学年の特徴として、周りの状況を判断できずに走り出すことが多いようです。しかし残念なことは、高学年でも平気で廊下を走ることが見られることです。正しい廊下の歩き方を身につけるために、先生方・子供達を力合わせて努力していかなければなりません。

三小では、三年生から校区内で保護者の監督・責任のもとで自転車に乗ることができ、三年生の自転車教室を一学期に二度実施しました。技能的に個人差はありますが、(この子供達を道で自転車で乗せて、本当に大丈夫だろうかと)、三年生の先生方と話

をしました。自転車は乗る練習をしないと、いつまでたつても乗れないし、危険だからと禁止しては、子供達にとつてマイナスの結果となるでしょう。すり傷の一つ・二つをこさえるうちに、うまく乗れた時の喜びは忘れられないものです。そこで保護者の方も、せめてわが子の自転車乗りの練習には、つき合つて欲しいということですが、また自転車の整備点検は年に一度行なわれる育友会の自転車点検だけでは十分でないことも御承知かと思えます。できれば今一度、これを読み終えてからブレーキ等のチェックをお願いしませう。体に合わない自転車に乗っていることも多いようです。

(集団登校について)

各町内の登校班の実態はいかがでしょうか。班長・副班長に対して基本的な事柄の指導、つまり、ならばび方、歩き方、横断歩道の渡り方などについては、年度の初めに指導をしています。毎日の集団登校においては、高学年のリーダー性が問われることになり、ところが先日(十二月七日)に登校班の旗を放課後調べますと、以外な結果になりました。毎朝の登校に必要なはずの旗が二十五本も置き

忘れられているのです。これが、各町内の登校班の班長のリーダー性にまかされている集団登校の一つの実態でしょう。交通指導の係としては、残念な気持ちがあります。

安全な登下校ができるように学校では、「五のつく日の安全指導」月に一度の集団下校の指導を生かしていく必要があります。家庭でも「命の大切さ」について、交通安全という面から話し合う機会をぜひつづけて欲しいものです。

赤い羽根共同募金

米 水利 一

「思いやりは、きつと返ってくる」をキャッチフレーズに、今年も三小全体で募金に取り組みました。以前は、子どもたちの話し合いによつて募金をするかどうかを決めていましたが、二、三年前から計画委員会の世話のもとで、募金をするようになりました。一年に一回、募金の意味を考える期間となっています。

「一円玉も積もれば、山となる」もので、今年も総計十五万五千三百二十八円が集まりました。本当に御協力ありがとうございました。

小川・本田 先生 表彰を受ける!

小川俊幸教頭：県教育委員会
永年勤続表彰(三十年)

本田兼光先生：市教育委員会
特殊教育功労者表彰

本校の小川教頭が、永年の教職活動にたいして県教委より、また、本田兼光先生が、永年の特殊教育にたいして市教委より晴れの表彰を受けられました。

楽しかった もちつき大会

六年一組
青 木 京 子

十二月八日は、待ちに待ったもちつき大会の日でした。この日のために私達六年生は、農協の人達といっしょにお米を作りました。四月ごろに種まきをして、六月ごろに田植えをし、十月ごろに稲刈りをしました。だから、もちつき大会の日をととても楽しみにしていました。

もちをつく時は、二人一組でつきました。ねらいを定めてついたつもりだったので、うすをたたいてしまったら、きねが頭にあたって、大きな

たんこぶができた人もいました。もちを丸める時が、最高に楽しい時でした。手にかたくり粉をつけ、アツアツのもちを丸めます。かたくり粉がついていなくて、もちが手から取れなくなったり、あんこもちを作る時に、もちの中にあんこがうまく入らず、ぐちゃぐちゃになったり、かたくり粉を顔や頭につけられて、おばけみたいになった人もいました。

もちつき 体験学習 に参加して

荒 木 修

前日の雨で、子ども達が楽しみにしていたもちつき大会が延期になるのではないかと心配しました。しかし、三小六年生による初めての田植え、稲刈り、そしてその収穫したもち米でもちつきと、子ども達の願いが神さまに聞き入れられたのか、雨も当日はぴしやりとやんだ。

早朝より前田学年部長の指揮のもとで、一般父兄の方と

農協青年部の方の手伝いで、つぎつぎともちがつかれていきました。子ども達も三人一組でもちをつくのですが、時おりきね同士のぶつかり合いや、もちを打たずす石たたきをする者もいた。それよりもまだやっかい者は、白い粉で遊ぶ親まで出てきた。こまったものだ!!

さて、最近のもちつきは、時代の流れとともに少しづつ失われてきつつある。私の小さい頃は、勢いのいいおじさん達が四五人で道具一式を運んで来て、夜遅くまでついでくれた。年に一度の楽しみな時間だったが、今でもはつきりと思いがたれる。それを見ると、今の子ども達を見てみると時代の流れかもしれないが、かわいそうな気がしてならない。

ひとつだけお願いしたいのは、今回限りでなく、ずっとずっとこの日本の伝統を子ども達に受け継いで欲しい気持ちでいっぱいです。

午前中の短い時間でしたが、白い粉にまみれながらも楽しもちつきを体験させて頂きありがとうございます。準備ですすんで協力していただいたお父さん・お母さん、農協青年部の皆様に心よりお礼申し上げます。

人権週間によせて

あだなを

いわないでね

一年一組

たかこ

わたしは、おともだちにあだなをいわれました。いままでずつといわれてきました。はじめは、たいやきといわれました。わたしがあさ、おはようといったら、たいやきといいました。わたしは、だまっていたいました。わたしが、いたかこなので、ようちえんのとときからいわれました。くみのおとこの子がみんな、わたしにたいやきといいました。そして、たこやきともいいます。わたしは、かなしいです。そして、まんじゅうという人もいます。わたしのかがおがまるいから、まんじゅうというのだとおもいます。わたしは、かなしいきもちになりました。おんなの子は、わたしのあだなはいけません。うれしいです。めぐみちゃん、いちばんなかよしなので、いつもたかこちゃんといっています。そして、おとこの子にいわれる



と、めぐみちゃんが、「たかこちゃんはいじめんでよ。」と、わたしをまもってくれました。わたしは、とてもうれしかったです。

水よう日のひるやすみに、おとこの子がわたしをいじめました。そして、わたしをなめました。でも、そうじのとき、「たかこ、さつきはごめん。おいのわるかった。」といってくれました。そのとき、「わたしもわるかったの、ごめんね。」といいました。そのときわたしは、おとこの子は、ふつうはいじわるをするけど、ときどきやさしくなるんだなあとおもいました。とてもうれしかったです。

学校で

いやなこと

四年四組

内藤 やよい

私は、学校でいっぱいいやなことを言われたり、言ったりしたことがあります。私は、せが高いので、「せ高ノッポ」と言われたり、名前から、あだなを「なつとややよい」と



みんな、仲よし!

かつつけられます。それに、○君に、私のせが高いのをわかって、歌をつくられたりしました。やっぱりそんなことを言われると、だまっていられない時があります。だから、たまに言い返す時もあります。そんな時、私はA君にあだなをつけたりました。A君たちにあだなをつけた後、自分にあだなをつけられた時のことを考え、ああ悪いことを言ったなあと思います。

今日、学校で二校時に、「私はバイキンなんかじゃない」という作文を読みました。じゅん子さんは、「じゅん子菌」と言われつつけて、どんなにつらかったかということがわかりました。もし、私がじゅん子さんだったら言い返すけれど、じゅん子さんは気が弱いので、言われた人に言い返せないで、なおさらじゅん子さんが、かわいそうになりました。毎日毎日、学級の人に悪口を言われてみれば、だれだつてむねがはりさけそうになるぐらいだと思います。そこに、みよちゃん、みんなの前で「じゅん子ちゃん、バイキンじゃないよ。」と言ったところで、みよちゃんという女の子は、とってもやさしい女の子だなあと思いました。

この「私はバイキンなんかじゃない」という作文の勉強が終了後、先生が、「みんなには、ほんとうに自分のことを思ってくれている友達はいますか。みよちゃんのように、自分をかばってくれる友達はいますか。」と言われました。よく考えてみれば、私のまわりには、本当に自分を思ってくれている友達はいるのかなあと思います。

これからは、人を差別しないようにしていきたいと思えます。それから、自分もあだなを言われたり、せが高いからといって差別されないといいなあと思います。



市民音楽祭

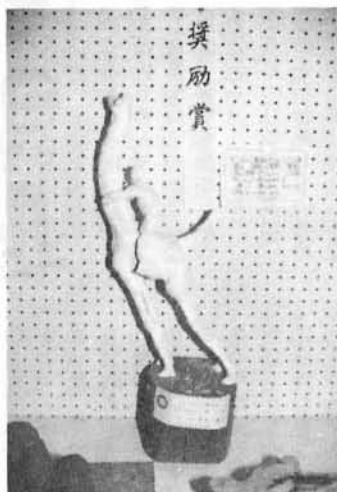
五年四組

吉田 あかね

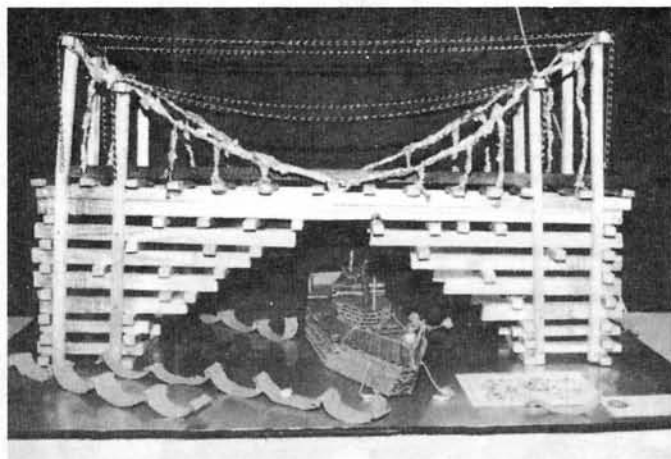
「みんな、用意しなさい。」
 と言われて、ハッとすると、
 もう三小の番でした。文化会
 館のろう下にならんで出番を
 待っている時からすでに、リ
 ハーサルの時ほどではありま
 せんが、きんちようしていま
 した。でも本番の時は、きん
 ちようする気持ちより、この
 アコーディオンをひくのも今
 日で最後だし、この曲ももう
 演奏することがないという気
 持ちの方が強い気がしました。
 三小の発表は、あつという
 間に終わってしまいました。
 演奏が終わってホッとしたと
 ころで、もうすべて終わった
 んだと思うと、さみしく思
 いました。
 先生方、そして友達には、
 本当にお世話になったなあ
 と思います。市民音楽祭での演
 奏曲、そしてアコーディオン、
 本当にありがとう。

第11回 北村西望展

— 三小優秀な成績 —



奨励賞
 「麒麟に乗ったよ」
 前森千華子（4年1組）



北村西望賞
 「ブリッジ」野口明男（5年2組）



奨励賞
 「へびとかめ」本田洋一（5年3組）



奨励賞
 「宇宙都市」岩本佳子（6年3組）

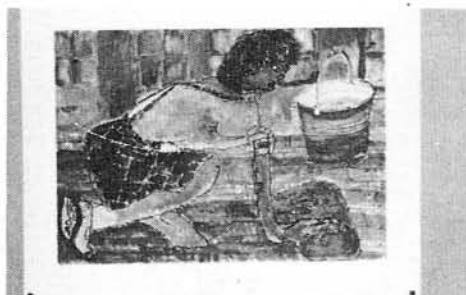


奨励賞

奨励賞

「笛をふく友」

堀崎賢太郎 (4年1組)



奨励賞

「ふきそうじ」小平貴博 (3年4組)



奨励賞

「そう」江崎理恵 (1年3組)



奨励賞

「そう」林田佳与子 (2年4組)

第十一回西望展において、

本校生徒の作品は、西望賞に輝いた五年二組・野口明男君の「プリッジ」を筆頭に、八名が入賞しました。近年にならぬ優秀な成績でした。

今回は、その中より数点を紹介するとともに、図工専科担当の本田堯先生にインタビューをしてみました。

~~~~~

編集長 本田先生、大量の西望展の入賞、おめでとうございます。まずは、感想をお願いします。

本田先生 本年は、各作品とも粘り強く、絵にも根性があったと思います。その結果、三小が一番多くの入賞者を出したのだと思います。

編集長 先生はよく「うまい絵よりもいい絵」とおっしゃいますが、いい絵を描く秘けつがあれば教えてください。

本田先生 はい。それは、まず感じるという心が大切だと思います。いいなあ、大きいなあ、小さいなあ、自然に感じたものを表わす事が大事です。「感じることは終りなき終りである」つまり、中身がないとだめなんです。

編集長 技術的には何かポイントはありませんか。

本田先生 まず絵筆を握ったから、かき初めの一筆が大切で

す。「一筆をおろした所は神の声」と言います。皆さんは人の顔を描く時、どこから描きますか。おそらく顔の輪郭から描くことでしょうか。でも、顔の中心は鼻ですよ。鼻や目からスタートすると、まとものある絵になります。この「どこから描くか」がポイントです。粘土や塑像では、冒險をしないためです。少しオーバーに表現する位でいいでしょう。



本田 堯 先生

編集長 ところで、先生は小学校の時の図工の成績はどうでしたか。

本田先生 よく転校しましたので、絵のわかる先生の時は良かったですよ。島中時代、お馬さん(井沢先生)という先生に指導を受け、この時は甲(今でいう5)でした。

編集長 先生は、子供のころから、図工の先生になりたいと考えていらつしやつたのですか。

本田先生 いいえ、子供のころは、地図を書く仕事をしたいと思っていました。いろんな所の地図を書くことや、まんがを描くことが好きだったので、

編集長 では最後に、先生の指導の上での目標でもあればお願いします。

本田先生 はい、それでは教室にも掲げておきます。「図工のめあて」を紹介しましょう。

### 図工のめあて

図工工作では、じょうずに絵をかいたり、ものを作ったりすることだけがめあてではありません。

じょうずにかこうとするよりも、自分で見たり感じたりしたことをもとに、考えてかくことです。

考えて、ものを作り続けていると、必ずじょうずになります。

じょうずになるだけでなく、人としての感じ方が育ちます。大むかしから、人間は絵をかき続け、ものを作り続けて、「自然」の大きさを知り、どんな人間になることが大切かがわかってきたのです。

「人間の心」を育てる、これが図画工作のめあてです。

編集長 先生、今日は本当にありがとうございました。

# 三小 あいの町・JSC町

## 元気のよい

### 子どもたち

浦田上

鶴殿 秀子

遊び場の少ない町内の子供達ですが、その行動範囲はとて広く、毎日皆、とても元気良く過ごしています。児童数、男の子十四名・女の子十九名、合計三十三名。少ない人数の中で、その折り返りの運動の試合等、上・下級生力を合わせて、たのしく一生懸命にがんばります。



新しい住宅地もできました

何より、それぞれの父兄の方々の心ある協力のおかげで、子供達と一緒に、いつも一つの心になれるのです。そして、いつものことですが、行事の終わりは、父兄の集まりに、その楽しい話題に時が過ぎます。この良い町内で生まれ育った元気な子供達は、それぞれ大きくなっていきますが、子供ごころに町内での良い思い出をたくさん残してやりたいものです。この良い町内で生まれ育った子供達、そしておらかな心を持った子供達をよろしくお願ひ致します。

## 店の多い蛭子町

蛭子町

中尾 人美

私達の住む町は、国道二五号線を走らして、両側にいろんな店が建ち並ぶ町です。今では、昔の面影はほとんどありません。店が多くて便利なのはいいのですが、交通量が激しく、遊び場が少ないため、子供達自身でいろいろ考え、工夫して遊んでいるよ



交通量の多い表通り

うです。家庭数は十四世帯、男子九人・女子十人と小じんまりした静かな町内です。校内球技大会は、児童数があまりにも少なすぎて、男子は棄権、女子は一年生二人を加え、十人で出場しました。私が育友会に入ってから最初に感じた事は、低学年をいたわる心の優しい子供達ばかりで、安心していろいろなことを任せられると思ひました。育友会行事の時なども、お父さん（お母さん）達は、いやな顔ひとつせずに参加してくださいます。来年は、また世帯数が減りますが、みんなと「力」を合わせて頑張りたいと思ひます。これからも蛭子町町内会をよろしくお願ひ致します。

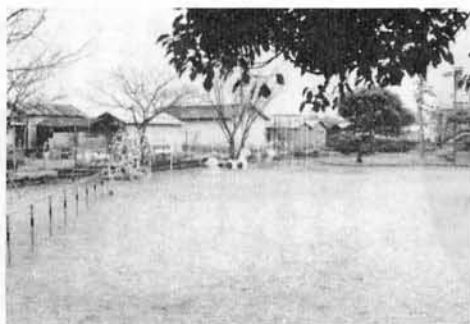
## 大はりきりの

### 緑の少年団

靈南

加藤 一幸

私達の町靈南は、靈丘神社の南側に位置し、有明海に抱かれ眉山に見まもられ、靈丘公園を庭として遊ぶ元気いっぱいの子供達二十三人、おませな娘十四人の子供と、二十五世帯の父母で成り立っています。なんとと言っても、靈南と言えはソフトボール、ソフトボールと言えは靈南と、その名を響き渡らせたほどですが、近頃は子供の数もめっきり少なくなりました。数年前のように



緑の多い靈南児童遊園

いきませんが、まだまだ頑張っております。又、地域の活動も盛んで、ありあけ荘との盆おどり大会、鬼火などでは、おじいちゃん・おばあちゃん達も首を長くして待っております。又、緑の少年団の活動もあります。来年は、百花台公園での全国植樹祭に参加します。全国からおいでいただく方々のプラカード持ちなどで活躍する予定です。靈南子供会は、和気あいあいの中で頑張っております。

## 編集後記

あわただしい師走の風なかでのがんば一〇四号の発行です。西望展の取材のために、本田堯先生を図工室に訪ねました。今は版画の季節だそうで、ひんぱんに指導を受けに来る子供たちを横目で見ながらのインタビューです。絵心の無い私（編集長）に、わかりやすく丁寧にお話をしてくださいました。先生、ありがとうございました。

平成元年もあと数日、来年はどんな年になるのやら、子供達にも育友会員の皆様にもきつとよい年となりますように、月はくやく、こいこい、お正月月